

5

今後の進め方

5 今後の進め方

(1) 観光しまづくりの推進体制

多様な主体による観光しまづくりの推進

奄美群島で観光しまづくりを推進する中で、奄美群島広域事務組合や（一社）奄美群島観光物産協会だけでなく、奄美群島内の12市町村、観光推進組織、観光産業に携わる方、観光産業以外の産業に携わる方、島民の全員がそれぞれの立場で観光を意識し、連携しながら取組を積み重ねることが重要です。

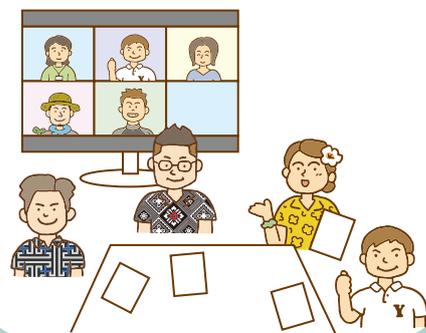


関係者が集まる場づくり

観光しまづくりを推進するにあたり、奄美群島広域事務組合と（一社）奄美群島観光物産協会が中心となって、本計画の周知も含めた情報共有、研修や勉強会、奄美群島の観光の方向性についての議論等を行うため、奄美群島全体で観光産業の関係者（ガイド、宿泊事業者、交通事業者等）が集まる場（（仮称）奄美群島観光ミーティング）を設けます。

オンラインを活用しながら定期的で開催し、社会動向や新しい仕組み、先進事例の共有など関係者全員の意識向上に繋がります。

(仮称) 奄美群島観光ミーティング



(2) モニタリング指標

将来像の実現に向けた取組が正しく進んでいるのか判断し、改善していくため、観光しまづくりの各取組を評価するためのモニタリング指標が重要となります。

観光しまづくりの状況を評価するためのモニタリング指標として、既存の統計データ等を活用しながら設定します。

視点	指標	対象となる主な方向性
視点1 奄美群島の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者の満足度 ・ 来訪者のリピーター率 ・ 来訪者の再来訪意向 ・ 来訪者の推奨度 ・ SNS のフォロワー数 ・ あまみシマ博覧会の掲載プログラム数 	<ul style="list-style-type: none"> 方向性1 奄美群島の地域ブランディングの強化 [1-1 奄美群島の観光施策の方向性の設定] [1-4 観光プログラムの開発] [1-5 情報発信] 方向性2 奄美の地域資源や観光拠点の魅力の向上 [2-1 地域資源の保全・活用] 方向性4 観光の現状分析のための情報収集と成果の活用
視点2 奄美群島の観光客	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入域客数 ・ 延べ宿泊者数 ・ 観光収入 ・ 来訪者の1人あたり旅行消費額 	<ul style="list-style-type: none"> 方向性1 奄美群島の地域ブランディングの強化 [1-1 奄美群島の観光施策の方向性の設定] 方向性2 奄美の地域資源や観光拠点の魅力の向上 [2-2 観光拠点や関連施設の整備] 方向性3 既存組織の体制整備や魅力的な人材の発掘・育成 [3-3 観光産業の質の向上] 方向性4 観光の現状分析のための情報収集と成果の活用
視点3 奄美群島内外の移動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅客船旅客数 ・ 定期航空路線旅客数 ・ 来訪者の公共交通機関の利便性の満足度 ・ 来訪者の1回の旅行で群島内周遊した人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> 方向性4 観光の現状分析のための情報収集と成果の活用 方向性5 奄美群島内外の移動の利便性向上 方向性6 隣接地域との連携の強化
視点4 奄美群島で観光に携わる人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光従事者の満足度 ・ 産業別就業者数 ・ 登録・認定エコツアーガイド数 ・ 特例地域通訳案内士数 ・ 奄美群島観光ミーティングの開催回数 	<ul style="list-style-type: none"> 方向性1 奄美群島の地域ブランディングの強化 [1-2 観光資源の利活用の適正化] 方向性3 既存組織の体制整備や魅力的な人材の発掘・育成 [3-1 観光推進組織の体制の強化や観光の関係者との連携] [3-2 観光に携わる人材の育成や連携の強化] [3-3 観光産業の質の向上]
視点5 観光と島民の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民意識調査の満足度 ・ 農水産品の移出入貨物の数量 ・ 景観条例（又は計画）策定数 	<ul style="list-style-type: none"> 方向性1 奄美群島の地域ブランディングの強化 [1-1 奄美群島の観光施策の方向性の設定] [1-3 観光産業と他産業との連携] 方向性2 奄美の地域資源や観光拠点の魅力の向上 [2-3 奄美らしい景観の保全・活用]

(3) 推進スケジュール

群島全体で取組む各施策の実施スケジュールについて、概ね短期（1～2年）、中期（3～5年）、長期（5年以上）の3つの期間を設定し、どの時期に実施するか目安を下記に整理しました。

方向性	群島全体での取組	実施スケジュール		
		短期 (1～2年)	中期 (3～5年)	長期 (5年以上)
方向性1 奄美群島の 地域ブラン ディングの 強化	1-1 奄美群島の観光 施策の方向性の設定 <ul style="list-style-type: none"> 奄美群島の観光地としての魅力について協議する 観光客のターゲットを設定し効果的な誘客活動を充実する DMO、カーボンニュートラル、JSTS-D（日本版持続可能な観光ガイドライン）の推進等の持続可能な観光地域づくりを推進する レスポンスブル・ツーリズム（責任ある観光）への理解を促進する 奄美群島エコツーリズムを推進する 観光しまづくりプランの計画内容や進捗状況について定期的に見直す 各島・自治体での観光推進財源の検討に向けた情報提供や勉強会を実施する 			
	1-2 観光資源の活用 の適正化 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境保護のための利用ルールづくりの支援や周知を行う 鹿児島県や市町村が作成した既存の動画やパンフレットを活用して観光マナーを旅行者に周知する 周遊観光等を支援しオーバーツーリズムへの対策を行う 			
	1-3 観光産業と他産 業の連携 <ul style="list-style-type: none"> 観光産業と他産業の連携や仕組みづくりを促進する 島一番コンテスト等により奄美群島内の特産品づくりを支援する 島ちゅチャレンジ応援事業等の実施により、農作物や加工品等の付加価値を高めるための6次産業化を支援する 宿泊施設や飲食店等で表示できる共通ロゴの作成等、奄美群島産の食材のブランド化を推進する 			
	1-4 観光プログラムの 開発 <ul style="list-style-type: none"> あまみシマ博覧会開催などの着地型観光を継続・発展する 地域の産業や集落行事に根差した体験型プログラムや旅行商品を造成する 集落行事や伝統行事などを活用した地域住民と観光客の交流を促進する 学会や研究会、視察等を支援する 			
	1-5 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 既存のホームページを生かした奄美群島の観光情報のプラットフォームを構築する 奄美群島の情報を集約したパンフレット等を作成する ホームページやパンフレットの多言語化を促進する 大都市圏でのイベント等のプロモーションを強化する 大都市圏における物産展の開催及び参加を行う 世界自然遺産関連の情報を周知する 島コーディネーターを活用して質の高い観光情報を発信する 			

方向性	群島全体での取組	実施スケジュール					
		短期 (1～2年)	中期 (3～5年)	長期 (5年以上)			
方向性2 奄美の地域資源や観光拠点の魅力の向上	2-1 地域資源の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・希少野生動植物の保護活動を支援する ・地域の産業や文化を生かした新たな観光資源を発掘する ・レスポンスブル・ツーリズム（責任ある観光）への理解を促進する【再掲】 ・自然環境を保全しながら奄美群島国立公園を観光拠点として活用する ・あまみシマ博覧会開催などの着地型観光を継続・発展する【再掲】 						
		2-2 観光拠点や関連施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連の公共施設でのバリアフリー化を促進をする ・交通拠点（空港、港湾）整備の際に観光やまちづくりの視点で利便性や空間の質が向上されるように提言する 					
			2-3 奄美らしい景観の保全・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・景観に対する意識を醸成する 				
		方向性3 既存組織の体制整備や魅力的な人材の発掘・育成	3-1 観光推進組織の体制の強化や観光の関係者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・研修等により（一社）奄美群島観光物産協会のスタッフの育成を進める ・専門家等による（一社）奄美群島観光物産協会との相談体制を充実する ・（一社）奄美群島観光物産協会の旅行会社としての機能を強化する ・奄美群島の規模に即した大型客船等の団体旅行の受入体制を支援する ・奄美群島全体で観光産業の関係者（ガイド、宿泊施設、交通事業者、マリンスポーツ等）が全体やテーマ別で情報を共有する場（（仮称）奄美群島観光ミーティング）を設ける ・郷友会などの奄美群島出身者との連携を強化する 				
				3-2 観光に携わる人材の育成や連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーガイド、奄美群島地域通訳案内士、島コーディネーター等を育成する ・ガイドスキル向上のための研修会等を開催する ・認定エコツアーガイドの救急救命講習を継続する ・インバウンドに対応するための語学力や接客技術向上のための支援を行う ・研修等により SNS 等を用いた奄美群島の情報発信のスキルアップを行う ・研修等により観光統計データの分析スキルを強化する ・あまみシマ博覧会開催などの着地型観光を継続・発展する【再掲】 ・キャンペーン等の周知により島民の観光への関心や理解を高める ・出前授業等、子ども達に地域の価値や観光の仕事に興味をもってもらうための取組を行う ・勉強会等を開催し観光振興の地域へのメリットの理解を促す 			
	3-3 観光産業の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な経営や生産性の向上のための観光産業の経営者向けの勉強会等を開催する ・エコツアーガイド、奄美群島地域通訳案内士、島コーディネーター等を育成する【再掲】 ・津波等の災害時において観光客が安心して滞在できるための防災の勉強会等を実施する ・群島内の移住支援情報を一体的に発信し相談窓口を一元化する 						

方向性	群島全体での取組	実施スケジュール		
		短期 (1～2年)	中期 (3～5年)	長期 (5年以上)
方向性 4 観光の現状分析のための情報収集と成果の活用	・奄美群島観光振興基礎調査を継続して実施する	■		
	・観光客の動向を把握するためのDXを活用した観光統計データを収集する	■		
	・観光従事者や島民を対象とした観光に関する意識調査を継続的に実施する	■		
	・島間の移動についての情報を把握する	■		
	・各種観光に関する統計情報の分析と結果を公開し、民間事業者による活用を促す	■		
	・研修等により観光統計データの分析スキルを強化する [再掲]	■		
	・既存の観光統計の収集と分析内容を統合する	■		
方向性 5 奄美群島内外の移動の利便性向上	・観光利用の促進により一次交通の維持・充実を図る	■		
	・環境に配慮した交通手段の施設整備を促進する	■		
	・奄美群島の周遊観光を促進する	■		
	・バスロケーションシステム等の二次交通情報の提供・支援を行う	■		
	・交通拠点（空港、港湾）整備の際に観光まちづくりの視点で利便性や空間の質が向上されるように提言する [再掲]	■		
	・奄美群島全体で交通事業者による情報を共有する場を設ける	■		
方向性 6 隣接地域との連携の強化	・「奄美・沖縄・屋久島」世界自然遺産を生かした取組を連携して実施する	■		
	・沖縄との広域周遊ルートを造成する		■	
	・沖縄県の観光推進組織等と連携した情報発信を行う	■		
	・観光に関連する民間事業者の交流を促進する	■		
	・音楽交流祭等の沖縄県北東部の山原（やんばる）と奄美群島の住民の交流を促進する	■		
	・琉球時代のテーマといった沖縄との文化的な連携を促進する		■	
	・沖縄等と連携した児童生徒向けの教育旅行プログラムを検討する	■		